

2026 年度大会 学生参加報告

2026 年 3 月 24 日から 26 日にかけて開催された 2026 年度研究発表会に参加しましたので、報告いたします。私は、「飼育下フンボルトペンギンのつがい外の繁殖行動に関する研究」というタイトルで口頭発表を行いました。飼育下フンボルトペンギンの血統管理を行う上で問題になると考えられるつがい外の繁殖行動について、個体の行動観察を行うことでつがい外の繁殖行動が発生しやすい状況を調査し、防止策について検討するという内容でした。本研究の発表にあたり、研究へのご指導、学会発表への挑戦を後押しして下さった八木先生、船坂先生、



調査のご協力や学会発表の許可を下された南知多ビーチランドの皆様、そして本学会での発表を提案して下さいました二宮先生に深く感謝を申し上げます。

今回、自分自身にとって初めての学会参加、そして初めての口頭発表ということもあり、発表前はとても緊張していました。しかし、会場の温かい雰囲気もあり、発表を通じて充実した時間を過ごすことができました。質疑応答では、活発な議論や貴重なご意見をいただき、今までにない研究に対する新たな視点や課題点が分かり、多くの学びを得ることができました。また、発表の場だけではなく、懇親会を通じた交流においても、様々な立場の方と情報交換を行う貴重な機会となり、興味深い知見を得ることのできる濃密な時間を過ごすことができました。

今回の経験は自分自身にとって良い刺激となり、研究の面白さを再認識し意欲を高めるきっかけになりました。現在は発表した内容とは異なるテーマで研究を進めていますが、来年度もまたこの場で発表できるよう本学会を通じて生まれた縁を大切にしながら、より良い研究成果を求めて取り組んでいきたいと思っております。

最後になりますが、2026 年度の開催にあたり、素晴らしい運営に携われた関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。